令和６年度　船橋市立行田中学校　第３号

コミュニティ・スクールだより

令和７年２月１２日（水）に第３回学校運営協議会を開催いたしました。今回の学校運営協議会は、STS 本部役員も出席し、STS の立場はもとより保護者の視点からもご意見をいただきました。

協議内容では、学校評価の結果を基に、今年度の成果と課題について議論しました。また、現在教職員の多忙化が問題視している中で、学校の教育活動に地域も参加し教職員と共に活動できないか、そして、学校に通っている保護者の相談窓口を設置できないかなど、保護者側の視点にも目を向けて議論いたしました。

今回の協議会で挙がった課題点を、来年度に生かしていきたいと考えています。

○第３回　学校運営協議会委員出席者

委員・宮田一美（元 PTA 会長）　・満生美恵（元 PTA 会長）
・柳澤輝子（塚田地区主任児童委員）・飯塚　純（元 PTA 会長）
・飯塚　亮（現 STS 会長）・髙橋和宏（行田中学校長）
事務局・関　紀和教頭・髙村泰央教頭・永井　恵教務主任・STS 本部役員

○学校運営協議会の内容

①校長挨拶　②学校評価について　③地域サポート調査の回答について
※地域サポート調査は、学校現場でどのような業務内容なら地域の方にサポートしてもらえるか教職員に調査したもの。
④次年度の学校運営協議会の年間計画について　⑤その他　意見交換

○協議での意見等

・学校に訪れた際、生徒のあいさつはすごくよくしてくれる。また、生徒自ら動いてくれる場面が増えた。保護者は小学校の時の方が、「学校に足を運ぶ回数が多かった」と感じ、中学校になると回数も減る。学校の様子や自分の子どもの様子を知るためにも、もっと保護者に足を運んでもらえる何かを設定できたらよいのではないか。

・子どものことで悩んでいるという相談が電話で何件か来たことがある。「こんなことで学校に相談してもいいのか」､「いつ電話したらいいのか。」など悩みを聞き、「相談しないと担任の先生もそれは分からないこともある。」などとアドバイスしたやりとりがあった。保護者にも学校に相談する前のワンクッションがあると良いのかなと感じた。